

基本計画書

基本計画		
事項	記入欄	備考
計画の区分	学部の学科の設置	
フリガナ設置者	ガッコウホジシニ ニッポンコウギョウダイガク 学校法人 日本工業大学	
フリガナ大学の名称	ニッポンコウギョウダイガク 日本工業大学 (NIPPON INSTITUTE OF TECHNOLOGY)	
大学本部の位置	埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4丁目1番1号	
大学の目的	<p>日本工業大学は、昭和42年に工科系単科大学として発足した。当時、工業高校生は大学進学のお機に恵まれず、彼らの技術体験を生かせる大学が求められていた。以来、工学への意欲にあふれた、さまざまな学習履歴をもつ学生を入学させ、初年次から、実験・実習・製図などを通じて工学を学ぶ「体験的実工学教育」により、現場に直結した実践的な技術者・プロジェクトリーダーを養成することを、教育の目的としている。平成17年度には、小型旋盤・茶室などの目標に向かって、企画・設計から製造・施工まで長期間かけて取り組む工房教育が、特色GPに採択された。2007年問題と言われるように、熟練技術者の定年退職期を迎え、産業界の技術力低下が叫ばれる昨今、本学の実践的技術者養成教育には、各方面から多くの期待が寄せられている。</p>	
新設学部等の目的	<p>日本工業大学は、工学が人類の幸福に寄与すると同時に、自らの生活環境を破壊する恐れがあることを早くから認識し、工学をとりまく環境問題の解決に、教育・研究の両面から積極的に取り組んできた。平成13年（2001）には、国際環境規格ISO14001を、全学で認証取得した。</p> <p>新設する「ものづくり環境学科」と「生活環境デザイン学科」の2学科は、本学が得意とする、ものづくりの生産現場や身近な生活環境の中で、工学技術を踏まえて環境改善に取り組む専門家の養成を教育目的とする。2学科とも、正面から環境問題に取り組む大学としての責務と理想を社会に示し、新たな人材需要を開拓できると確信している。</p> <p>ものづくり環境学科 環境対策は、ものづくりのすべての段階で重視されなければならない。本学科では、ライフサイクルアセスメント手法を取り入れた工業製品の環境調和型製品設計、製品の再利用・再生システムの構築、廃棄時の環境負荷低減や再資源化技術、輸送・物流における交通環境問題などを、主要研究課題とする。また、ものづくりの生産現場において、環境に配慮した製品の開発・設計から、工場の環境管理までを担うことができる、まさに21世紀の社会が求める技術者を養成する。エネルギー管理士、公害防止管理者、環境計量士などの資格取得の道も用意する。</p> <p>生活環境デザイン学科 人が生活するさまざまな空間（住空間・公共空間・商業空間・福祉空間など）は、省資源・省エネルギーはもちろんのこと、快適な温湿度、適切な明るさや色彩、活動しやすい動線など、様々な配慮をしてはじめて快適な空間となる。快適な空間の提供は、高齢化社会を迎える21世紀の重要な環境課題である。家具など直接体に触れるものの快適性を重視した設計や製作技術、バリアフリーさらにユニバーサル・デザインなど高齢者や障害者に配慮した設計技術が求められている。</p> <p>本学科には、「住空間デザインコース」・「福祉空間デザインコース」の2コースを設ける。「住空間デザインコース」では、住宅や店舗を、インテリアから家具までトータルコーディネートできるデザイナーを養成する。「福祉空間デザインコース」では、福祉施設や介護施設の設計に精通した建築技術者、高齢者向けの住宅改善を担う住宅福祉コーディネーターを養成する。一・二級建築士、1級インテリア設計士、2級福祉住環境コーディネーターなどの資格取得の道も用意する。</p>	

新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人		年 月 第 年次	
	ものづくり環境学科 (Department of Products Engineering and Environmental Management)	4	50	—	200	学士(工学)	平成21年4月 第1年次	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号
	生活環境デザイン学科 (Department of Living Environment Design)	4	50	—	200	学士(工学)	平成21年4月 第1年次	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号
	計		100	—	400			
同一設置者内における 変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		<p>新設2学科は、それぞれ入学定員50人、収容定員200人である。いっぽう、既存5学科(機械工学科・電気電子工学科・建築学科・システム工学科・情報工学科)は、それぞれ入学定員200人、収容定員800人であるが、平成21年4月入学生から、<u>電気電子工学科の入学定員を160人、収容定員を640人に、システム工学科の入学定員を140人、収容定員を560人に変更する。</u>したがって、<u>工学部全体の入学定員1000人、収容定員4000人に変更はない。</u>なお、システム工学科は、創造システム工学科へ名称を変更する予定で、別途届出中である。</p>						
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計			
	ものづくり環境学科	147科目	46科目	32科目	225科目	124単位		
	生活環境デザイン学科	138科目	46科目	47科目	231科目	124単位		

教	学 部 等 の 名 称		専任教員等					兼任 教員	
			教授	准教授	講師	助教	計		助手
新 設 分	ものづくり環境学科		5人 (3)	2人 (2)	1人 (3)	0人 (0)	8人 (8)	0人 (0)	3人 (1)
	生活環境デザイン学科		5 (5)	2 (1)	1 (1)	0 (1)	8 (8)	0 (0)	11 (2)
	計		10 (8)	4 (3)	2 (4)	0 (1)	16 (16)	0 (0)	17 (4)
既 員 組 織 設 の 概 分	機械工学科		9 (10)	6 (5)	1 (1)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	20 (21)
	電気電子工学科		6 (8)	3 (3)	4 (4)	2 (0)	15 (15)	0 (0)	23 (19)
	建築学科		8 (6)	7 (2)	1 (6)	0 (0)	16 (14)	2 (3)	30 (30)
	創造システム工学科		5 (6)	5 (2)	0 (2)	2 (0)	12 (10)	0 (0)	12 (12)
	情報工学科		8 (10)	8 (6)	0 (2)	2 (1)	18 (19)	0 (1)	20 (20)
	共通教育系		7 (5)	9 (10)	6 (7)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	67 (67)
	機械工作センター		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	0 (0)
	電気実験センター		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)
	建築技術センター		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)
	CAD/CAM/CAE演習室		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
	総合研究センター		2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (1)	0 (0)
	先端材料技術研究センター		0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)
	超高電圧研究センター		0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	0 (0)
	学修支援センター		0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)
	英語教育センター		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	教職教育センター		1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	スチューデントラボ		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)
	インテリアデザインラボ		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
	工業技術博物館		0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)
	工業教育研究所		1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (0)
企画室		0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	
留学生別科		0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
生涯学習センター		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
システム管理室		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	
技術経営研究科		12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	23 (23)	
計		59 (62)	40 (30)	15 (25)	7 (2)	121 (119)	16 (20)	195 (192)	
合 計		69 (70)	44 (32)	17 (30)	7 (3)	137 (135)	16 (20)	212 (196)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計				
	事 務 職 員		49 人 (49)	64 人 (64)	113 人 (113)				
	技 術 職 員		5 (5)	6 (6)	11 (11)				
	図 書 館 専 門 職 員		2 (2)	7 (7)	9 (9)				
	そ の 他 の 職 員		2 (2)	9 (9)	11 (11)				
	計		58 (58)	86 (86)	144 (144)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	142,698.92㎡	537.14㎡	— ㎡	143,236.06㎡	日本工業大学 専門学校 収容定員:200名 基準面積については、数値基準なし			
	運 動 場 用 地	109,333.53㎡	0㎡	— ㎡	109,333.53㎡				
	小 計	252,032.45㎡	537.14㎡	— ㎡	252,569.59㎡				
	そ の 他	29,752㎡	0㎡	— ㎡	29,752㎡				
	合 計	281,784.45㎡	537.14㎡	— ㎡	282,321.59㎡				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		日本工業大学 専門学校 収容定員:200名 基準面積:740㎡		
		82,157.64㎡ (82,157.64㎡)	697.63㎡ (697.63㎡)	1,455.42㎡ (1,455.42㎡)	87,336.42㎡ (87,336.42㎡)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)				
専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
					室				
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
		()	()	()	()	()	()		
		()	()	()	()	()	()		
	計	()	()	()	()	()	()		
図書館		面積 ㎡	閲覧座席数	収納可能冊数					
体育館		面積 ㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要						
経 費 積 及 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円	
		共同研究費等	900千円	900千円	設備購入費	0千円	64,800千円	12,830千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,617千円	1,393千円	1,393千円	1,393千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			資金運用収入、手数料収入、国庫補助金収入等を充当					
既設大学等の状況	大 学 の 名 称	日本工業大学							
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	工学部								
	機械工学科	4	200	—	800	学士(工学)	1.25	昭和42年度	埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4丁目1番1号
	電気電子工学科	4	200	—	800	学士(工学)	1.04	昭和42年度	埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4丁目1番1号
建築学科	4	200	—	800	学士(工学)	1.27	昭和42年度	埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4丁目1番1号	
システム工学科	4	200	—	800	学士(工学)	0.97	昭和50年度	埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4丁目1番1号	
情報工学科	4	200	—	800	学士(工学)	1.13	平成7年度	埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4丁目1番1号	

<p>附属施設の概要</p>	<p>①LCセンター（平成19年10月設置） 4,614.68㎡ 図書及びその他の資料を収集管理して、学生及び職員等の利用に供し、また施設の利用を通じて教育研究の充実を図ることを目的としている。</p> <p>②工業教育研究所（昭和60年4月設置） 40.92㎡ 工業教育に関する諸問題を調査・研究し、工業教育の振興に寄与することを目的としている。</p> <p>③工業技術博物館（昭和62年4月設置） 3,143.07㎡ 工業技術に関する機器、標本、模型等の歴史的資料を収集、展示、保管するとともに、資料に関する専門的、技術的な調査研究を行い、教育的配慮のもとに学内外の利用に供し、工業教育の振興に寄与することを目的としている。</p> <p>④健康管理センター（昭和55年4月設置・旧保健体育センターから名称変更） 2,620.39㎡ 本学の学生及び職員の健康管理に関して企画・立案・実施し、健康の保持増進を図り、本学の教育研究活動の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的としている。</p> <p>⑤スチューデントラボ（平成11年10月設置） 1,180.75㎡ 本学学生が自由な発想で主体的にものづくりに取り組むことができる場を設けることにより、本学の教育理念である、ものづくりを通しての実践的な技術体験教育をさらに発展させることを目的としている。</p> <p>⑥インテリアデザインラボ（平成20年7月設置） 178.04㎡ 学生のインテリアデザインに関する実験の実施、そのための調査研究、研究活動のための施設設備の利用を通じ、本大学の教育研究の充実を図ることを目的としている。</p> <p>⑦機械工作センター（昭和53年4月設置） 1,597.91㎡ 学生の機械工作に関する実験の実施、そのための調査研究、研究活動のための施設設備の利用を通じ、本学の教育研究の充実を図ることを目的としている。</p> <p>⑧電気実験センター（昭和53年4月設置） 1,147.90㎡ 学生の電気に関する実験の実施、そのための調査研究、研究活動のための施設設備の利用を通じ、本学の教育研究の充実を図ることを目的としている。</p> <p>⑨建築技術センター（昭和58年10月設置） 1,015.63㎡ 学生の建築技術に関する実験の実施、そのための調査研究、研究活動のための施設設備の利用を通じ、本学の教育研究の充実を図ることを目的としている。</p> <p>⑩CAD/CAM/CAE演習室（平成19年4月設置） 557.93㎡ 学生のCAD/CAM/CAEに関する演習の実施、そのための調査研究、研究活動のための施設設備の利用を通じ、本学の教育研究の充実を図ることを目的としている。</p> <p>⑪学修支援センター（平成17年4月設置） 123.86㎡ 本学学生の学修活動を支援し、その調査研究を行い、教育の充実を図ることを目的としている。</p> <p>⑫英語教育センター（平成18年9月設置） 164.78㎡ 本学の学生の英語教育に関して企画・立案・実施し、学生の英語能力の向上を図ることを目的としている。</p> <p>⑬教職教育センター（平成17年4月設置） 40.92㎡ 本学学生に対する教職教育の実施・支援、教職教育に関する情報収集、調査研究を行い、教職課程の充実を図り、社会に貢献することを目的としている。</p> <p>⑭総合研究センター（平成19年4月設置） 289.22㎡ 本学の有する研究機能を充実発展させ、先端的な学術研究・開発を行い、本学の学術研究基盤を強化し、科学技術の発展に寄与することを目的としている。</p> <p>⑮先端材料技術研究センター（平成11年4月設置） 1,502.37㎡ 先端材料の開発、評価、応用等の研究を通じて、本学における先端的な学術研究基盤を強化し、科学技術の発達に資すること及び材料に関する試験、実験・実習等を行うことにより教育研究活動の充実を図ることを目的としている。</p> <p>⑯超高電圧研究センター（昭和60年7月設置・旧超高電圧放電研究センターから名称変更） 1,216.94㎡ 超高電圧現象に関する研究及び施設の利用を通じて、本学における先端的な学術研究基盤を強化するとともに、技術研究・教育活動の充実を図り、科学技術の発展に資することを目的としている。</p> <p>⑰生涯学習センター（平成7年4月設置） 407.64㎡ 本学の有する諸機能を広く社会に開放し、種々の教育活動を展開することによって、社会の発展に寄与することを目的としている。</p> <p>⑱産学連携起業教育センター（平成18年4月設置・旧産学リエゾンセンターから改組） 53.82㎡ 本学の持つ研究及び技術能力を積極的に活用し、産官学の交流活動を積極的に行うとともに、起業のための人材育成等の教育活動を展開し、本学に対する社会的要請に応えることを目的としている。</p> <p>⑲ファインブランキングセンター（平成16年4月設置） 296.41㎡ ファインブランキングプレス技術の研究開発、教育及び普及を通して本学の教育研究活動の充実を図ること、並びに学会及び産業界に貢献することを目的としている。</p> <p>以上の附属施設は、全て工学部を設置している宮代キャンパス（埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4丁目1番地1号）に置かれている。</p>	
----------------	---	--